* テストモード

チェックした場合はファイルの削除とコピーが行われません。同期タスクで同期した場合にコピーや削除されるファイルを確認するために使用してください。 コピーや削除されるファイルは履歴やメッセージで確認できます。テストモードでは自動同期タスクに設定できません。

* 自動同期タスク

タスクが選択されていない時に同期ボタンを押すと同期を開始するタスクになります。

* タスク名

同期タスクの名前です。名前は大文字と小文字の区別を行いません。

* 同期方式

ミラー、コピー、移動、アーカイブから方式を選択する。**同期はマスターからターゲットの一方向で行います。**

* ミラー

マスター側のディレクトリーとファイルをターゲット側に差分コピー(\*1)し、コピー終了後にマスター側に存在しないターゲット側のファイルとディレクトリーを削除する。

* 移動

マスター側のディレクトリーとファイルをターゲット側に差分コピーし、ターゲット側にコピーしたマスター側のファイルを削除する。（ただし、マスターとターゲットに同名でファイルサイズと更新日時が同じファイルはコピーせずマスター側のファイルを削除）

* コピー

マスター側のディレクトリーに含まれるファイルをターゲット側に差分コピーする。

* アーカイブ

マスター側のディレクトリーに含まれる写真とビデオをアーカイブ実行日時より撮影日時が７日以前や30日以前などの条件でターゲットに移動する。（ただし、ターゲットにZIPは使用できません）

\*1下記の３条件のうちいずれかが成立した場合に差分ファイルと判定し、コピーや移動を行います。ただし、同期タスクのオプションでファイルサイズと最終更新時間を無視することができます。

* ファイルが存在しない
* ファイルサイズが違う
* 最終更新日時が3秒以上違う(秒数は同期タスクのオプションにより変更可能)
* マスターとターゲットを入れ替える

マスターフォルダーとターゲットフォルダーの内容を入れ替えます

* マスターフォルダー

同期元ディレクトリーを指定します。アイコンをタップするとフォルダー編集画面が表示されます

* ターゲットフォルダー

同期先ディレクトリーーを指定します。アイコンをタップすると同期先フォルダー編集画面が表示されます

* ファイルを選択する

チェックしないと全てのファイルを同期します。チェックすると同期するファイルを選択することができます。

* オーディオファイルを同期する

チェックすると下記の拡張子のファイルを同期します。

aac, aif, aifc, aiff, flac, kar, m3u, m4a, mid, midi, mp2, mp3, mpga, ogg, ra, ram, wav

* イメージファイルを同期する

チェックすると下記の拡張子のファイルを同期します。

bmp, cgm, djv, djvu, gif, ico, ief, jpe, jpeg, jpg, pbm, pgm, png,pnm, ppm, ras, rgb, svg, tif, tiff, wbmp, xbm, xpm, xwd

* ビデオファイルを同期する

チェックすると下記の拡張子のファイルを同期します。

avi, m4u, mov, mp4, movie, mpe, mpeg, mpg, mxu, qt, wmv

* ファイルフィルター

上記以外で同期するファイルの名前や拡張子を選択できます

* 同期するサブディレクトリーを指定する

チェックしないと全てのサブディレクトリーを同期します。チェックするとディレクトリーフィルターボタンが表示されます。

* ディレクトリーフィルター

同期するディレクトリーを選択できます。タップするとディレクトリーフィルター編集画面が表示されます。

* 充電中の時だけ同期を開始する

充電中だけ同期を開始できます。充電していない時に動機を開始するとエラーとなり後続の同期タスクの開始を中止します。

* マスターで指定されたディレクトリーの直下に存在するファイルを処理する

チェックした場合はマスターフォルダーで指定されたディレクトリーに存在するファイルとサブディレクトリーおよびサブディレクトリーに含まれるファイルを処理します。チェックしていない場合はマスターフォルダーで指定されたディレクトリーに存在するサブディレクトリーおよびサブディレクトリーに含まれるファイルだけを処理します。

例：内部ストレージのルートをマスターにして、同期するディレクトリはディレクトリ選択フィルターで指定する場合はチェック無しにしてください、ルートディレクトリのファイルは除外されます。

* 上書コピーまたは削除の前に確認する

チェックした場合はファイルの削除と上書きする前に確認ダイアログを表示します。

* 無線LAN
* オフでも実行

ネットワークの状態に関係なく同期を開始できます

* APに接続されている時

アクセスポイントに接続していれば同期を開始できます

* プライベートIPアドレス

IPアドレスがプライベートアドレスの時に同期を開始できます

* IPアドレスリスト

同期を開始できるIPアドレスを指定できます

* 指定されたアクセスポイントまたはIPアドレスで無い場合タスクをスキップし、次のタスクを開始する

チェックすると条件から外れた場合はエラーとせず後続のタスクを開始します。

* グローバルIPアドレスでの同期を許可する

チェックするとプライベートアドレス以外での同期が実行できます。

* 詳細なオプションを表示する

**下記のオプションは詳細設定する時だけ使用ください。**

* サブディレクトリーを処理する

チェックすると同期フィルターで選択されたサブディレクトリーを同期する。**チェックしないとサブディレクトリーは同期されません。**

* 空のディレクトリーを処理する

チェックすると空のディレクトリーを同期します。（ターゲットに空のディレクトリーを作成する）

* 隠しディレクトリーを処理する

チェックすると隠しディレクトリーを同期します。（Androidでは隠しディレクトリーの名前は「．」から始まりますが、WindowsやSambaではディレクトリーの名前ではなくディレクトリーのビットであらわされますので、同期により作成されたディレクトリーは隠しディレクトリーになりません）

* 隠しファイルを処理する

チェックすると隠しファイルを同期します。（Androidでは隠しファイルの名前は「．」から始まりますが、WindowsやSambaではファイルの名前ではなくディレクトリーのビットであらわされますので、同期により作成されたファイルは隠しファイルになりません）

* ネットワークエラーが発生した場合にリトライする

SMBサーバーのエラーに限り同期をリトライする。リトライは最大3回行う、それぞれのリトライはエラー発生から30秒経過後に行う。

* 拡張されたディレクトリー選択/除外フィルターを使用する

上位ディレクトリーが除外されている時に下位ディレクトリーを選択している場合は下位ディレクトリーを同期の対象にします。

* ディレクトリーフィルターV2を使用

チェックすると新しいフィルターが使用できます。以前のフィルターと**挙動が違う場合がありますので十分なテストを行い使用してください。**

* フィルターにより除外されたディレクトリー/ファイルを削除する

チェックすると**フィルターで除外されたディレクトリー/ファイルを削除します。**

* ミラーの時は削除を最初に行う

チェックすると最初にマスターフォルダーに存在しないディレクトリーとファイルを削除し、その後にマスターフォルダーとファイルサイズや最終更新時間が違うファイルをコピーします。

マスターフォルダーがSMBの場合はネットワーク経由でファイルのスキャンを行うため処理時間が長くなります。可能ならばSMBプロトコルは「SMBv2/3」をご使用ください。

* ターゲットファイルの最終更新時刻をマスターと同じにしない

SmbFile#setLastModified()やFile#setLastModified()が失敗する場合に有効にしてください。これにより、ファイルの差分判定はファイルの存在の有無とファイルサイズで判定されます。

* 強制的にSMBSync2で最終更新日時を取得

毎回全てのファイルがコピーされる場合に試してみてください。Java File#setLastModified()を使用しないで、SMBSync2独自方式でローカルファイルの最終更新日時を保守する。

* SMBフォルダー書き込み時のIOバッファーを16KBに制限する

PC/NASフォルダーへの書き込み時に“Access is denied”エラーが発生した時に試してみてください。チェックした場合はリモートファイル書き込み時のIOバッファーを16KBに制限します。ただし、パフォーマンスは低下します。

* 差分判定にファイルサイズを使用する

チェックした場合はファイルサイズが違う場合は差分ファイルとして判定する。

* マスターのファイルサイズが大きい時だけ差分ファイルとして判定する

チェックした場合はマスターファイルサイズが大きい時だけ同期の対象とする。

* 差分判定にファイルの最終更新時間を使用する

チェックした場合はファイルの最終更新時刻が違う場合は差分ファイルとして判定する。

* 差分ファイルの判定で許容される最終更新時刻の差

1秒、3秒と10秒のうちから選択します。ファイルの最終更新時刻の差が選択された時間差内であれば変更なしとします

* ターゲットファイルがマスターファイルよりも新しい時はターゲットファイルを上書きしない

チェックするとファイルサイズおよび最終更新時刻が違っていてもマスターファイルがターゲットファイルよりも新しい時だけファイルを上書きします。

* 夏時間と標準時の時間差を無視する

チェックすると夏時間と標準時の時間差を無視します。

* 夏時間と標準時の時間差(分)

無視する時間差を指定します。

* ディレクトリー名またはファイル名に使用できない文字が含まれているディレクトリーまたはファイルの処理をスキップする。 (", :, \, \*, <, >, |)

チェックすると使用できない文字が含まれているディレクトリー/ファイルを処理せず警告メッセージを表示し次のディレクトリー/ファイルを処理します。

詳細は下記をご参照ください。

<https://drive.google.com/file/d/0B77t0XpnNT7OSzBzcV9SemEwbkE/view?usp=sharing>